

青森県  
秋季高校野球

▷第2日

八高専、三沢商  
光星など8強

秋季青森県高校野球選手権第2日は17日、弘前市はるか夢、青森市の県営、黒石市営の3球場で2回戦8試合を実施した。八高専が弘前工に競り勝ち、春秋を通じて初の県大会8強入りを決めたほか、三沢商が青森商との延長十五回の激戦を制し、準々決勝に駒を

進めた。八学光星も順当勝ち。工大一、八戸、三沢、むつ工は姿を消した。

18日は台風18号の接近に伴い試合がない。第3日の19日ははるか夢、県営の2球場で準々決勝を行う。

(取材班)

きのこの結果	
▽2回戦	八高専4-2弘前工
	三沢商8-7青森商
(延長15回)	
	青森山田7-1工大一
	五所工13-5八戸
(7回コールド)	
	青森2-1五所商
	八学光星8-1むつ工
(7回コールド)	
	弘前東7-2三沢
	弘学聖愛8-2五所
19日の試合	
▽準々決勝	
(青森県営)	
	八高専-三沢商 10-00
	青森山田-五所工 12-30
(弘前市はるか夢)	
	青森-八学光星 10-00
	弘前東-弘学聖愛 12-30



光星 投打がっちり

むつ工 0000010  
八学光星 3001301x  
(7回コールド) 81

和 (む) 櫛引、布施-伊勢田  
(八) 横澤、竹中-瀬川  
秋山2、尾崎(八)  
【評】光星は初回、敵失と

長南、秋山の適時打で3得点し主導権を握った。4点リードの五回は矢野の左前打を皮切りに、四球を挟んで5連打して3点を奪い、試合を決めた。むつ工は六回に川口の適時打で1点を奪い、意地を見せた。

守備、走塁に課題も

○：光星は投打がかみ合い、初戦を突破。ただ、長南佳洋主将は「攻守で消極的な部分があり、課題も見つかった」と試合を振り返った。

その一つが守備や走塁の細かいミス。初回と六回には内野で失策があった。仲井宗基監督は、今年のチームは守備が良いとした上で「もう少しミスだった」とした。

初戦のやや浮き足だった状態を抜け出し、プレートの質を上げないといけない」と長南。台風のため準々決勝の延期が決まった。一日置いての試合に向け「バットを振り込んで、守備を調整し、いいプレーで臨みたい」と意気込んだ。

【むつ工-八学光星】7回  
光星1死二、三塁、秋山龍正が右前打を打ち、コールド勝ちを決める-県営